

「松本市里山辺落石災害」検証結果及び落石災害を防ぐための今後の対応をお知らせします

県では、令和8年5月7日に松本市里山辺で発生した落石災害について、部局横断による検証会議や有識者の意見を踏まえ、治山事業（森林整備）との因果関係について検証してきました。このたび、検証結果を取りまとめた「松本市里山辺落石災害検証報告書」を公表し、同様の災害を未然に防ぐために必要な対策を講じてまいります。

1 検証した3つのポイント

① 落石の主因

軟らかい泥岩が長期間にわたり風化・侵食し、突出した硬い閃緑斑岩が浮石化して剥離した。

② 施工による落石誘発の有無

重機作業、作業道の開設、岩塊周辺の掘削等は行われておらず、発生源周辺で伐採も行われていないことから、森林整備が落石を誘発した事実は認められない。

③ 施工による落石防止効果への影響

伐採したアカマツは既に松くい虫被害により枯損し、根系の腐朽が進行していたことから、伐採せず残した場合であっても落石を防止できた可能性は低い。

2 検証結果

治山事業（森林整備）との因果関係は認められないものの、同様の災害を未然に防ぐため、今後、事業計画段階から落石リスクの確認が必要である。

3 今後の対応

対応1：県が治山事業で実施する森林整備については、事業計画段階から落石リスクを確認する新たな仕組みを導入する。

対応2：治山事業以外の森林整備についても、森林整備の注意事項等を記載した施業者向けガイドラインを改正して落石災害リスクの確認項目を追加するとともに、事業体説明会等を通じて本事案を紹介し、注意喚起する。

※詳細は、別添「松本市里山辺落石災害検証の概要」をご覧ください。

※本文は、県ホームページ「信州の治山」に掲載しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/sangyo/ringyo/hozen/chisan/shinshuunochisan.html>



長野県産木材のある
穏やかな暮らしをマークにしました

つなぐ木のいのち

NAGANO WOOD PRODUCT



(問合せ先)

担当 森林づくり推進課治山係
松原、日詰
電話 (直通) 026-235-7272
(代表) 026-232-0111 (内線) 3254
FAX 026-234-0330
電子メール shinrin@pref.nagano.lg.jp

松本市里山辺落石災害検証の概要及び落石災害を防ぐための今後の対応

別紙

令和8年5月7日発生 | 治山事業（森林整備）との因果関係を検証



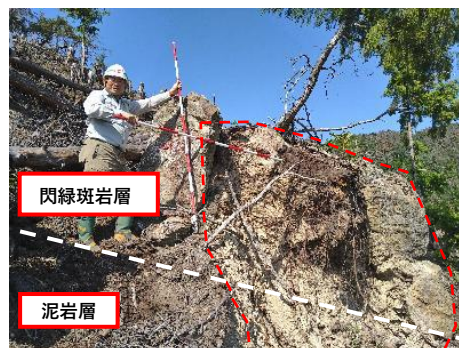
災害の概要

発生日時 令和8年5月7日 23時47分頃
発生場所 松本市里山辺矢崎地区
落石規模 計3個、最大 約2.0×1.8×1.2m
約11トン
被害 人家2戸（車庫・擁壁）、市道等。
人的被害なし

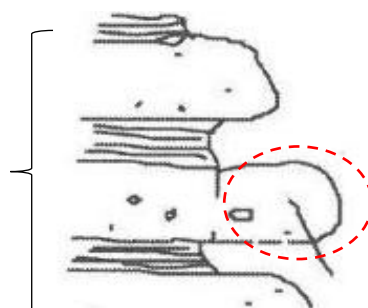
1 部局横断検証会議及び有識者の見解で検証した3つのポイント

- 1 落石の主因** 柔らかい泥岩が長期間にわたり風化・侵食し、突出した硬い閃緑斑岩が浮石化して剥離した。
- 2 施工による落石誘発の有無** 重機作業、作業道、岩塊周辺の掘削はなく、発生源周辺で伐採も行われていないため、施工による影響は認められない。
- 3 施工による落石防止効果への影響** アカマツは既に枯損し根系腐朽が進行。残しても落下を防止できた可能性は低い。

〈落石の主因〉



層状をなす
硬柔著しい
差のある岩
石の互層



落石発生原因の流れ



差別侵食のイメージ図（治山技術基準解説P112より）

2 検証結果

治山事業との因果関係は認められないものの、同様の災害を未然に防ぐため、今後、事業計画段階から落石リスクの確認が必要である。

3 今後の対応

対応1 県が治山事業で実施する森林整備については、計画段階から落石リスクを確認する新たな仕組みを導入します。

計画時

保全対象・地形・地質
・露岩

現地調査

浮石・亀裂・風化
・根系

必要に応じて

専門家相談・シミュレ
ーション

施工・施工後

誘発行為の注意・変状
・住民周知

対応2 治山事業以外の森林整備についても、森林整備の注意事項等を記載した施業者向けガイドラインを改正して落石災害リスクの確認項目を追加するとともに、事業体説明会等を通じて本事案を紹介し、注意喚起します。